

第58回甲府市総合防災訓練の実施について

1 主会場訓練

日 時：11月14日（日）午前7時55分から午前10時55分まで

場 所：甲府市立相川小学校校庭及び体育館

訓練項目：避難訓練（水害時の避難経路確認）、降雨体験車による降雨体験、土砂災害模型体験、VRによる土砂災害体験、簡易水防工法の実演、地区住民と消防団による水害時の連携訓練、消防本部による上空偵察訓練（ドローン）及び救出救護訓練

～VR体験～



～土砂災害模型体験～



～降雨体験車～



2 シェイクアウト訓練

日 時：11月14日（日）午前7時55分から1分間

場 所：甲府市内全域

訓練項目：防災無線放送等【緊急地震速報】を合図に、それぞれの居場所で、地震から身を守るための3つの安全行動を、市内一斉に行います。



3 災害対策本部訓練

日 時：11月14日（日）午前8時00分から午前10時30分

場 所：本庁舎4階「防災対策室」

訓練項目：情報伝達訓練、本部事務局訓練

4 地区会場訓練

日 時：11月14日（日）（時間は、各地区の計画による。）

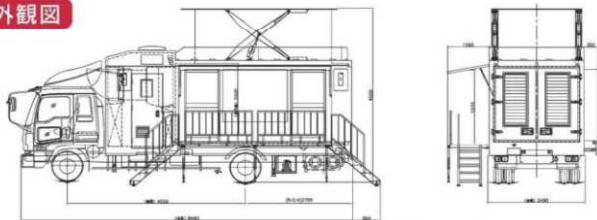
場 所：市内の指定避難場所、又は各自治会が指定する場所

訓練項目：避難訓練、携帯型防災行政用無線による通信訓練等

5 特記事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策として、参加者には検温やマスクの着用、手洗いと手指の消毒、3密（密接・密集・密閉）の回避など、感染予防策を徹底して実施します。
- (2) 大雨や浸水に対する備えの重要性や対策について、改めて考えるきっかけとなるように、降雨体験車による豪雨や暴風を実際に体験していただきます。
- (3) ビー玉を土砂と仮定した模型により、土砂災害の様子を実演します。
- (4) 土砂災害が発生したことを想定したVR体験を実施します。
- (5) 土砂災害や水害に備えた簡易水防工法の実演や、土のう積み訓練など、住民と消防団が連携した訓練を実施します。
- (6) 消防本部によるドローンを活用した情報収集訓練を実施します。

外観図



走行時



展開時



65インチプラズマディスプレイ



体験室内



【降雨体験車】

【主要諸元】

- 全長・全幅・全高 走行時/8.5m×2.5m×3.6m 展開時/9.2m×3.9×4.5m
- 使用電源 PTO 発電機 (外部電源: 商用3相200V/30A)
- 体験人数 7名/回
- 運転免許 普通自動車免許
- 体験時間 子供向け/約5分間 大人向け/約5分間

国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所 施工調査・技術活用課
〒270-2218 千葉県松戸市五香西6-12-1 TEL.047-389-5124

こう う たい けん しゃ 降雨体験車



国土交通省 関東地方整備局

たい ふう おお あめ たい けん 台風の大雨を体験できる!

降雨体験車は、風水害の災害に対しての知識や水防活動の必要性を、雨や風などで体験できます。

う りょう かぜ つよ 雨量・風の強さ

降雨は1時間当たり10mm～300mmまでの雨量を体験でき、風は毎秒0m～10mまでの風速を無段階で選択できます。

ぬ れ ず に けん がく 濡れずに見学

観覧スペースから、雨に濡れずに体験の様子を見ることが出来ます。



えい ぞう おん きょう 映像・音響

65インチの大型ディスプレイとサラウンドシステムにより、臨場感のある体験ができます。

かん すい 冠水

大雨により側溝から水が噴き出す様子を再現します。

300mm/hの雨って?

その土地に1時間に降った雨の量の高さが30cmになると300mm/hの雨といえます。高知県の足摺岬で10分間に49mmの日本最大の降水量が記録されており、この雨が1時間降り続くと、1時間当たり294mmの雨が降ったことになります。

台風とは?

熱帯の海上で、発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼び、このうち、発達して中心付近の最大風速がおよそ毎秒17m以上になったものを、「台風」と呼びます。



自動運転はストーリー構成で雨量、風の強さを変化させ、台風の風雨を体験することができます。

- 【体験時間】
- 子供向け: 約5分間
 - 大人向け: 約5分間

